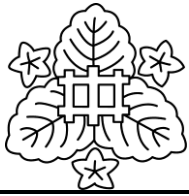


2015



石神井中だより

平成27年 3月 25日 発行 3月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakujii-j.nerima-ky.ed.jp/>

伝統のバトン

校長 田中 隆史

先日の卒業式では、卒業生代表として津山くんと玉野くんが「卒業生による門出の言葉」で、『石神井中学校で学んだことを生かし、未来へと続く道を一步一步進んで行くことを、ここに誓います。』と力強い決意を述べて、卒業生 228 名が本校を巣立っていきました。これからは、1・2年生が伝統のバトンをしっかりと受け継いでいく番です。

そのためには、まず先生方から新入生に対し、「上級生を見習いなさい」と言ってもらえる新2・3年生になることです。学校生活の中で何事にも当たり前のことを当たり前のこととしてやり遂げられる上級生にならなければなりません。また、学校行事においては生徒会役員や実行委員に任せるのではなく、一人一人が進んでその行事に向き合い、常に新しい内容を加えながら、より充実した行事を創り上げようとする姿勢をもつことです。今年度の卒業生は伝統的な行事を受け継ぐだけでなく、それをさらに高め、進化させようとする姿勢を皆さんに身をもって示してくれました。



さらに、卒業生から送られた1・2年生へのメッセージをしっかりと受け止め、新たな気持ちで新年度を迎えることです。最上級学年・中堅学年に進級する皆さんには、自分たちの立場や役割を自覚し、互いに協力し合いながら本校の伝統をしっかりと受け継いでほしいと思います。

「何事にも全力で取り組む石中」「ボランティア精神が強い石中」「行事に熱く燃える石中」、この石神井中学校を卒業することを誇りに思います。在校生の皆さん、中学校生活の3年間はあっという間に過ぎてしまいます。悔いの残らないように、仲間と共に前へ進んでください。そして、石中の良き伝統を引き継ぎ、生徒一人ひとりが輝くことのできる石神井中学校をつくってください。

保護者の皆様、PTA活動をはじめ、様々な面でご支援をいただきありがとうございました。皆様にご協力いただいた学校評価アンケート結果などをもとに教員による自己評価を行ったところ、「わかりやすく、工夫した授業」「個に応じた教科指導と基礎学力の定着」「評価計画に基づいた適正な評価・評定」「道徳教育の充実」「いじめ、不登校、支援を要する生徒への迅速な対応」「全教員による一致した生活指導」が次年度への課題として明らかになりました。

この結果は、学校関係者評価においても学校評議員の方々から概ね適切であると評価されました。次年度は、これらの課題を踏まえた学校経営を進め、教育活動の充実に努めて参ります。保護者の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

